

UCHIDA

電子チェックライタ

EG-400型



★いつでも取り出せますように、便利な所に保管しておいてください。

取扱説明書

このたびは、ウチダ電子チェックライタEG-400型
をお買上げいただきまして誠にありがとうございます。
あなたの片腕として末長くご愛用いただく
ために、必ず本取扱説明書をご覧ください。また、
無用のトラブルを避けるため、『**1** 使用上の注意』
には特にご注意ください。

目次

1	使用上の注意	1
2	各部の名称	4
3	各部の機能	5
	1 スライドスイッチとキー操作	5
	2 表示管	7
	3 奥行調整ダイヤル	8
4	操作手順	9
	1 証書への印字	9
	2 発行金額・枚数の累計をとるとき	13
	3 抹消印字とメモリーの訂正	13
	4 電卓としての使用	14
5	インクロールの交換方法 (インキローラーカセット)	17
6	トラブルとその処置	19
7	仕様	20

1 使用上の注意

★本機は、手形・小切手等、偽造防止のために、刻みのはいった金額の印字に用います。

- ①電源は、家庭・事務所用の 100V コンセントから、お取りください。
※工場など、電圧変動が大きい所でのご使用は避けてください。

- ②紙以外のシートや証書用紙より厚い紙には印字しないでください。

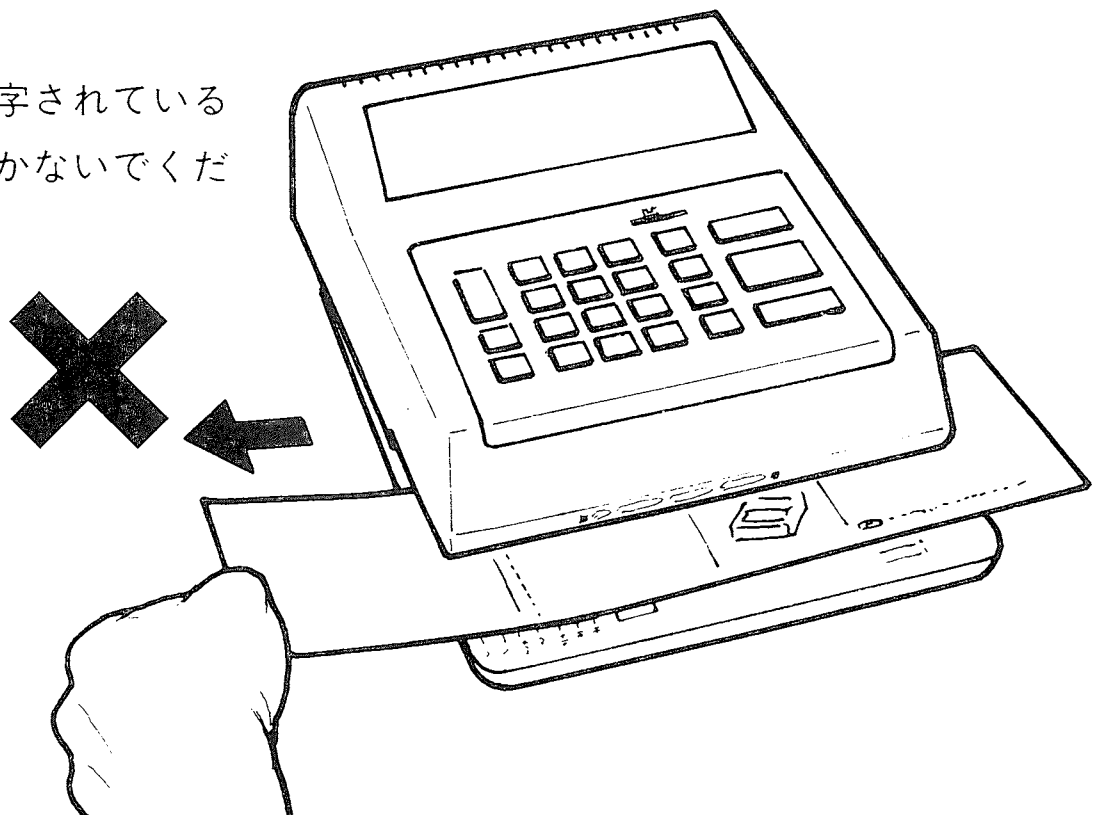
× ポリエチレン

× ビニール

× ボール紙

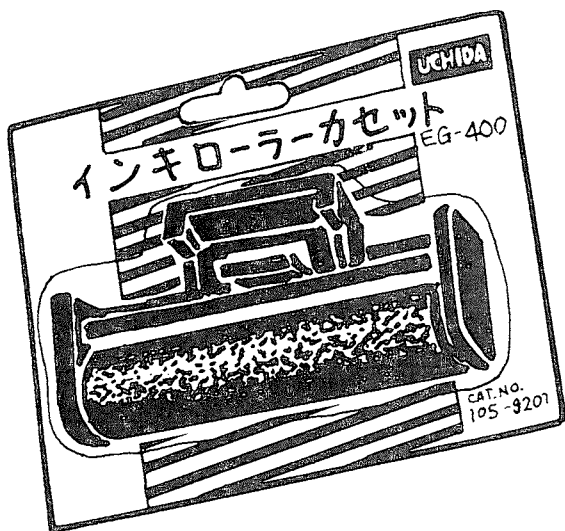
また、2枚以上の証書を挿入しないようご注意ください。

- ③印字途中、印字されている証書を引き抜かないでください。

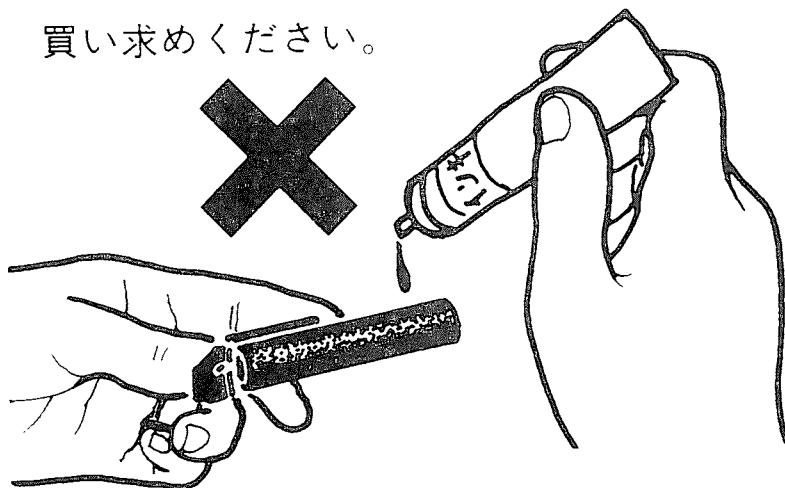


④ 印字途中でスイッチを切ったり、
スイッチの「ON」、「OFF」を連続し
ないでください。

⑤ インクローラーはカートリッジ式で
すので、印字がうすくなった場合
は、新しいインクローラーと交換し
てください。

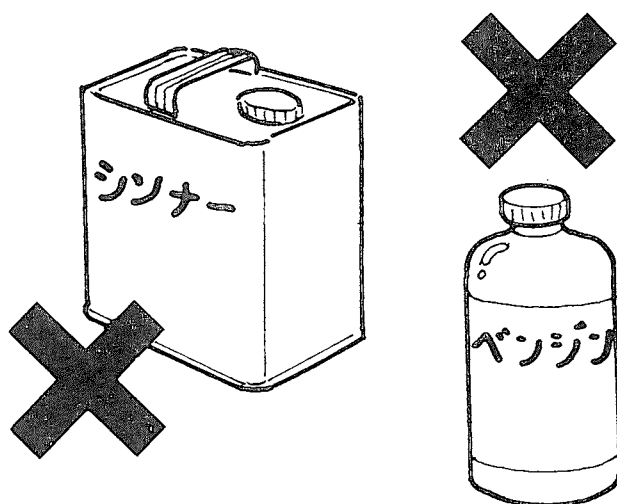


ウチダ電子チェックライタ専用イ
ンキローラーカセットEG-400をお
買い求めください。



※ 他社の充填用インクやアルコール、
油等は絶対に補給しないでくださ
い。

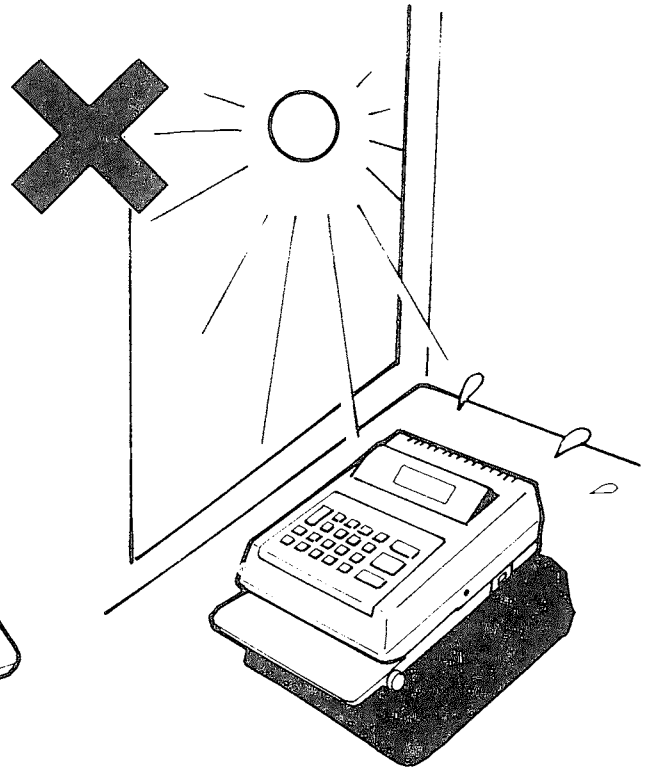
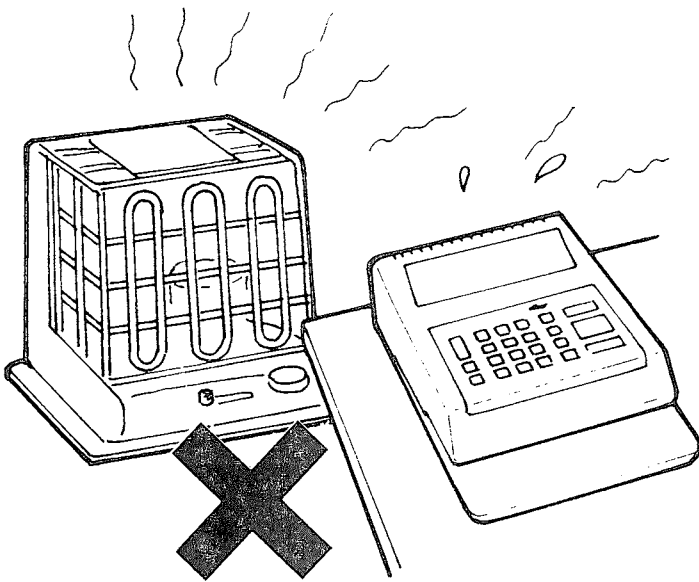
⑥ 本機の汚れを落とす際は、カラ拭き、
あるいは、市販のプラスチック用
クリーナー(チューブ入りのもの)
をご使用ください。



水拭きや、シンナー、ベンジン等
で拭くことは、おやめください。

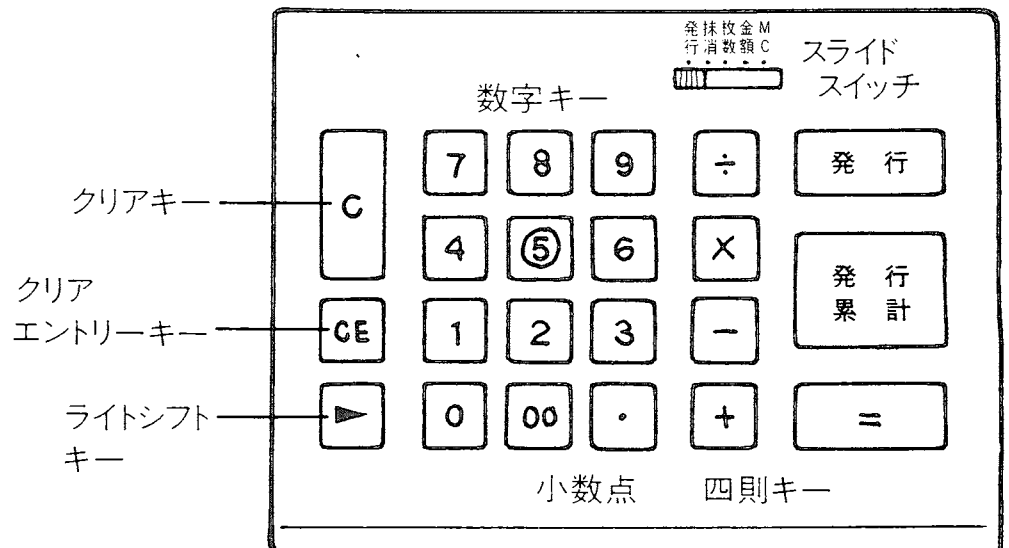
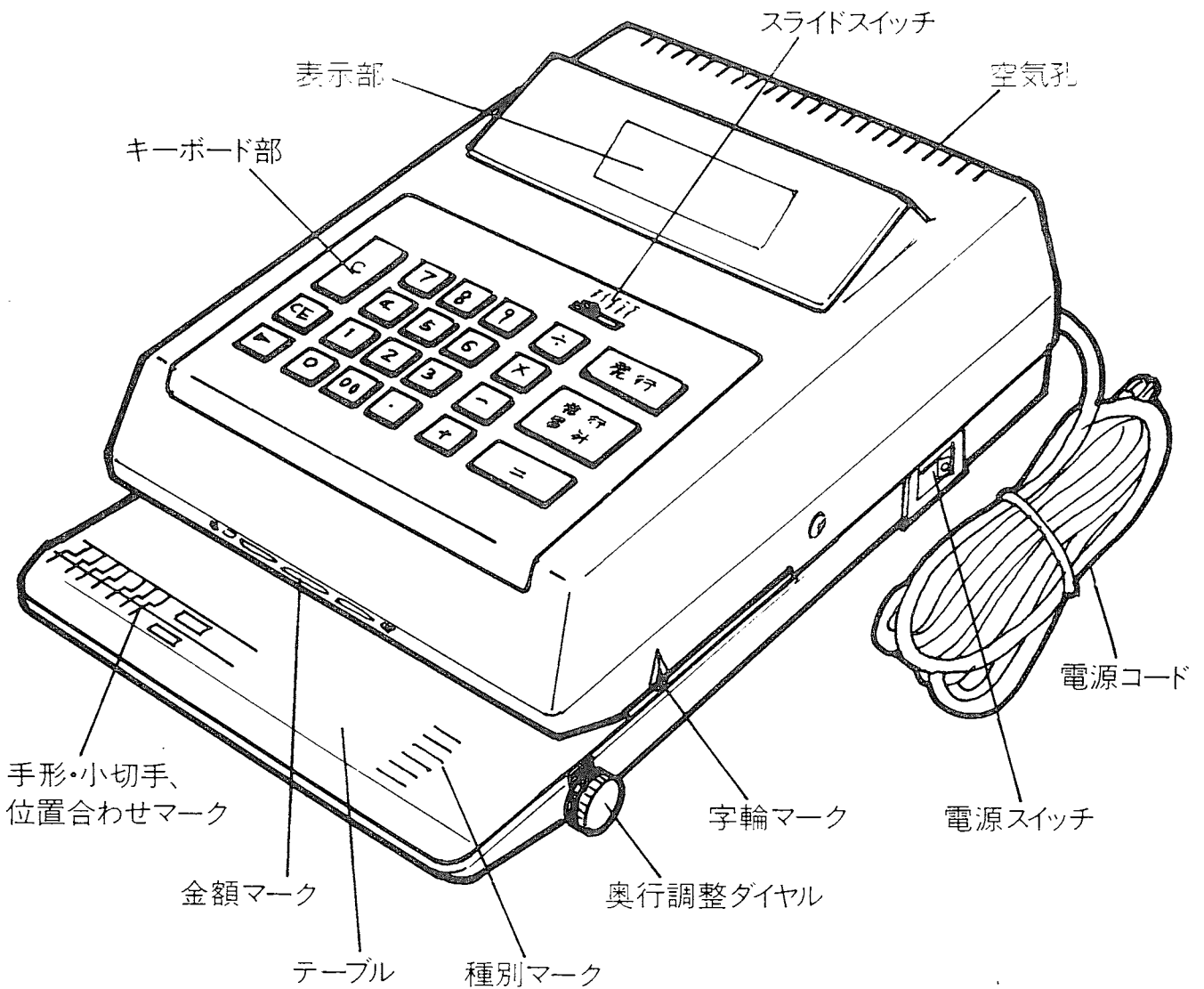
⑦ 精密機械ですので振動の多い
所での使用は避けてください。

- ⑧ 保管する際は、ケースカバーをかけ、直射日光の当る場所や、暖房装置の付近は避けてください。








- ⑨ 本機は絶対に分解しないでください。

2 各部の名称



3 各部の機能

1 スライドスイッチとキー操作

スライドスイッチの位置	操 作 キ ー
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C</p> <p>● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行 計 累 計</p> <p>キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C</p> <p>● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行</p> <p>キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C</p> <p>● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行 計 累 計</p> <p>キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C</p> <p>● ● ● ● ●</p> 	<p>発 行</p> <p>キー</p>
<p>発 抹 枚 金 M 行 消 数 額 C</p> <p>● ● ● ● ●</p> 	<p>C</p> <p>キー</p>

機 能

蛍光表示管に表示されている金額を印字し、同時に、金額と枚数をメモリーに加算します。

表示されている金額を印字する。メモリーには加算されません。

¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ※ を印字し、同時に表示されている金額をメモリーから、減算し、枚数もメモリーから、-1 されます。

メモリーや表示にも関係なく、¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ※ を印字します。

メモリーに加算されている発行枚数の累計を蛍光表示管に表示します。

メモリーに加算された発行金額の累計を表示します。

メモリーの内容を金額枚数ともに消去します。

(キー以外は受けつけません)

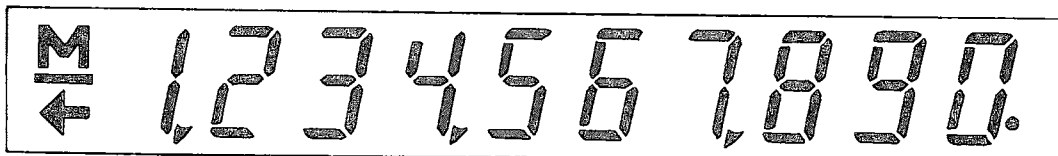
★表示の金額を印字できるのは、スライドスイッチが「発行」の位置にあるときだけです。その他の位置にあるときは、印字できません。

★表示が小数点を含む場合は印字できません。
(例 123.45 → 印字できない)



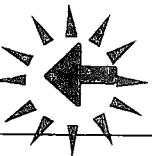

★表示が「-」のときは、印字できません。
(例 -560 → 印字できない)

★スライドスイッチが「MC」以外の位置にあるときは、いつでも計算が行なえます。

2 表示管

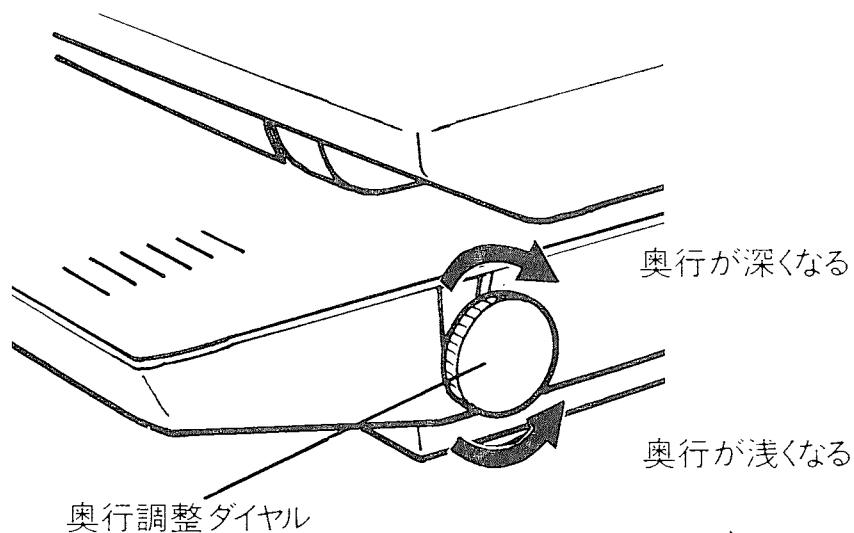
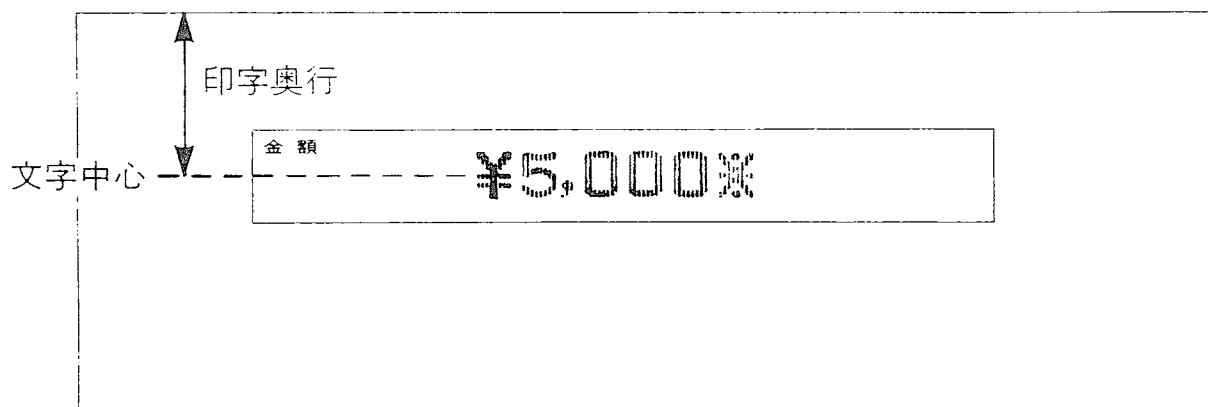


表示記号の説明

点 灯	意 味	内 容
	メモリー表示	発行金額・枚数がメモリーにはいったことを表わす。
	メモリーのオーバーフロー表示	累計金額が11桁におよんだ時に点灯し、オーバーフローを知らせる(P13 (お願い) 参照)
	エラー表示	演算結果がオーバーフローした時、又は0で割算をしたとき等の演算エラーを表示する。
	マイナス表示	表示データがマイナスになった時、点灯。

③ 奥行調整ダイヤル

証書の種類によって印字奥行を変えるときに用います。



奥行調整ダイヤルによって、本体内部のペーパーガイドが前後します。ペーパーガイドに用紙をあてて印字できるのは、印字奥行29mm～80mmのあいだです。

4 操作手順

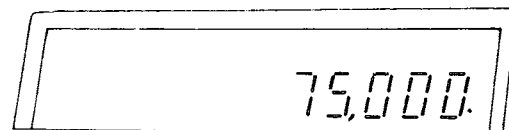
1 証書の発行

まず電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にします。

【手形の発行】

例：7万5千円と印字させる。

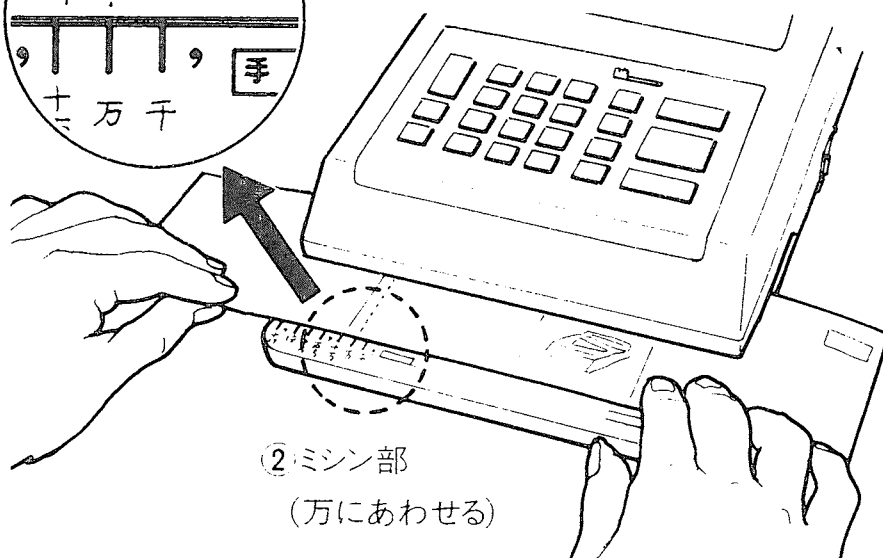
- ① 数字キーを **75000** と押すと、
表示部に75,000と表示されます。



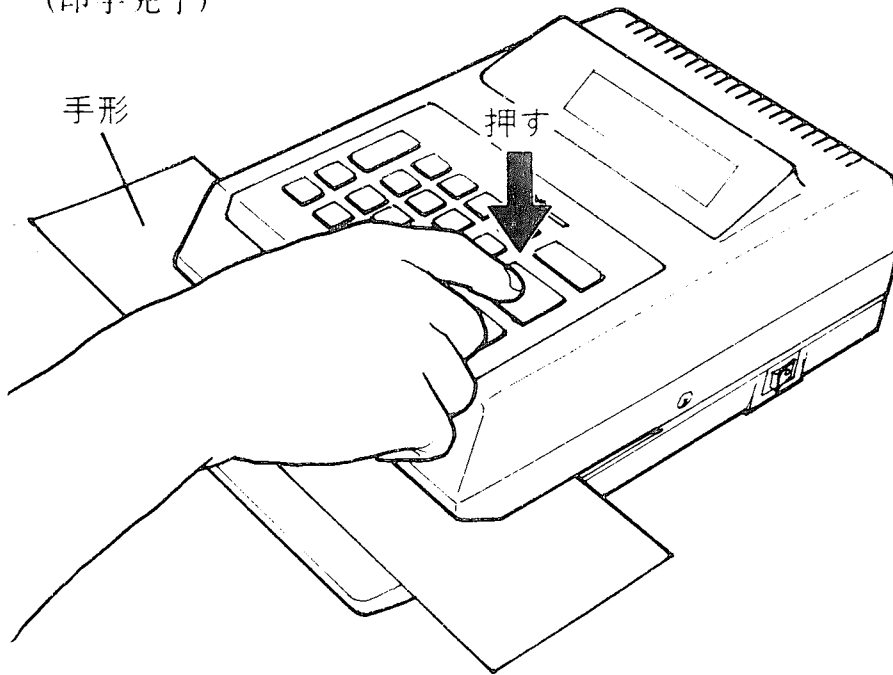
- ② 印字奥行の調整は、手形用紙の表側を上にしてテーブルの上ののせ、止まるまで差し込みます。次に奥行調整ダイヤルを回して図のようにテーブルに印刷されている位置合わせマークの **手形** の位置に手形用紙の下端がくるように調整します。



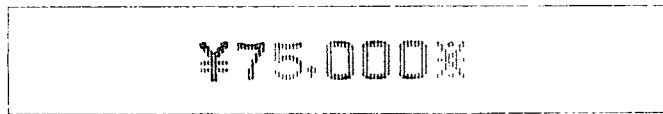
- ③ 印字左右位置の調整は、手形用紙を左右に動かし、ミシン部（切り取り線）をテーブルに印刷されている金額マークの万の位置に合せます。



- ④ **発行累計**あるいは**発行**キーを押します
(印字完了)



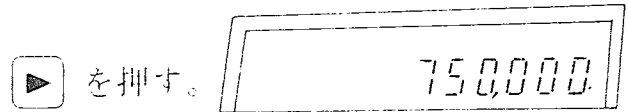
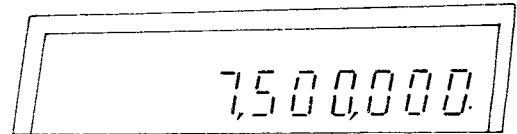
印字見本



※75,000円の手形がもう一枚必要な場合には、再度新しい手形を入れ、そのまま**発行累計**あるいは**発行**キーを押してください。
(リヒート印字)

●他の金額を発行する場合でも同様の操作を行ってください。

- ⑤数字の入力途中の訂正には**C**キーをご使用下さい。また「0」を多く入力した場合など**▶**キーを使って訂正できます。

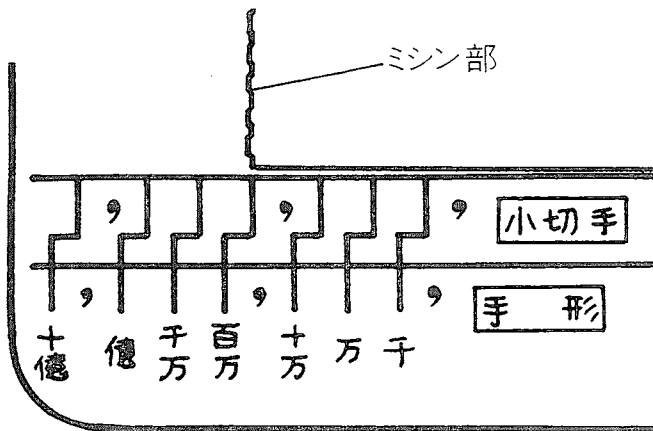


下一桁が消えて右にシフトしていきます。

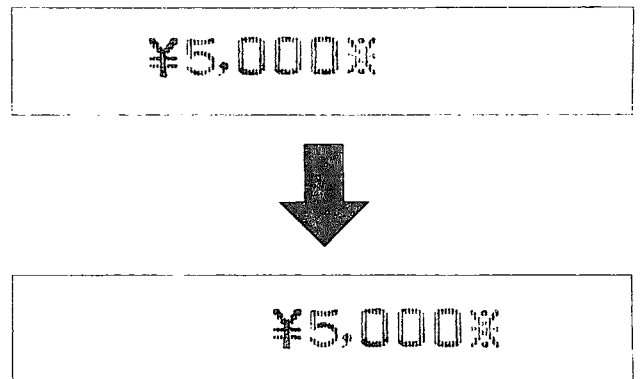
※一度、印字をさせて、次に別の金額を入力するときは、そのまま、数字キーで入力してください。**C**キーを押す必要はありません。

【小切手の発行】

- ①本票をマシン部（切り取り線）より、切りはなし、手形の場合と同様に行ってください。



このとき、印字位置は、右側へずれることとなります。



- ¥マークをいつも一定の位置に置きたい場合は、位置合わせマークをズラシテお使いください。

例：5千円するときマシン部を $\frac{十}{万}$ に合せる。
 30万円するとき " $\frac{千}{万}$ に合せる。

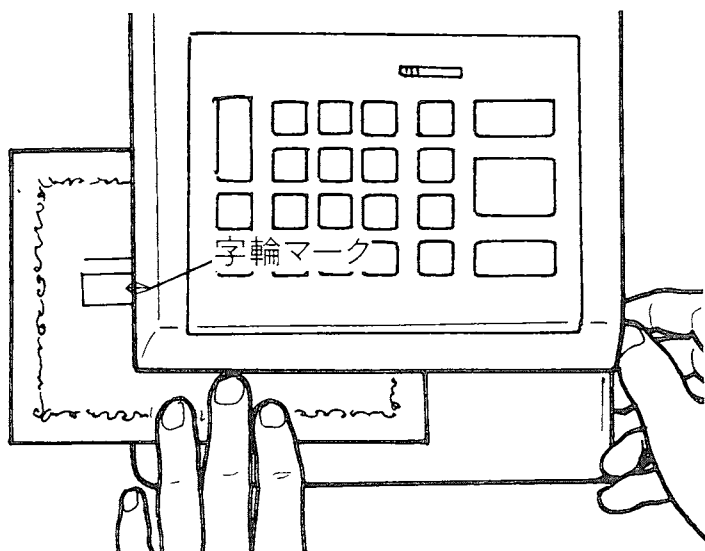
- ②小切手を冊子のまま、切りはなさず印字する事も可能です。



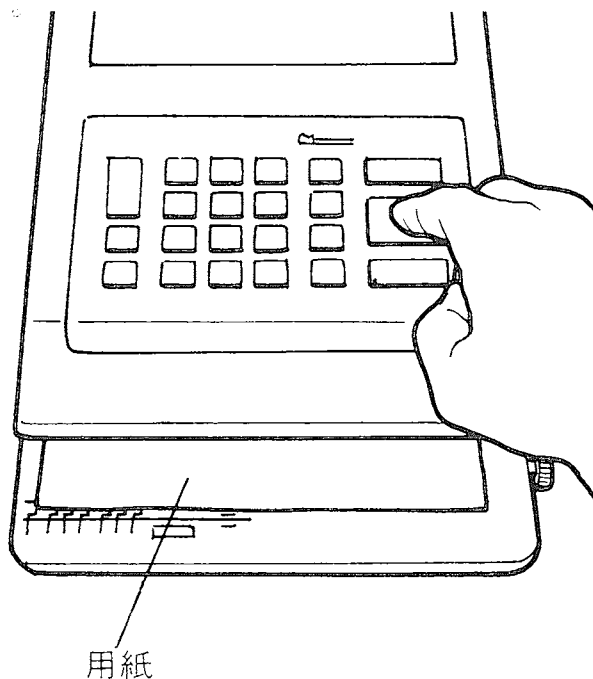
※この場合、テーブルの位置合わせマークに小切手のマシン部が合わせられない場合があります（金額が小さいとき）。

【その他、領収証等への印字】

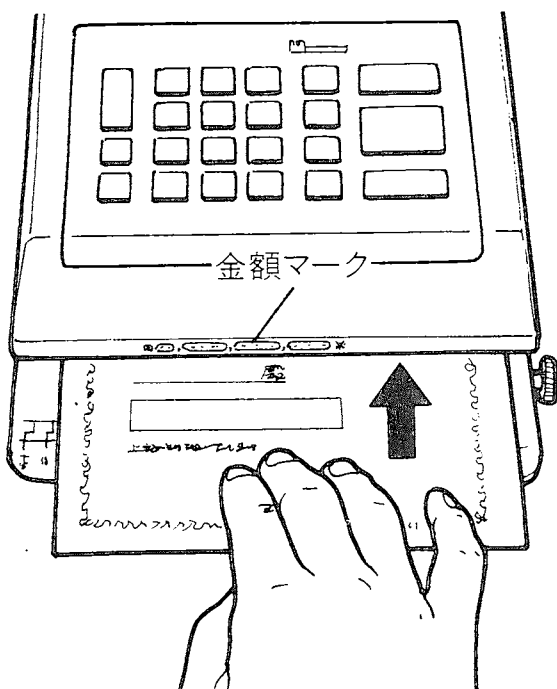
- ①用紙を差込み、つきあたったところで、奥行調整ダイヤルと、字輪マークを使って、印字奥行を決めます。



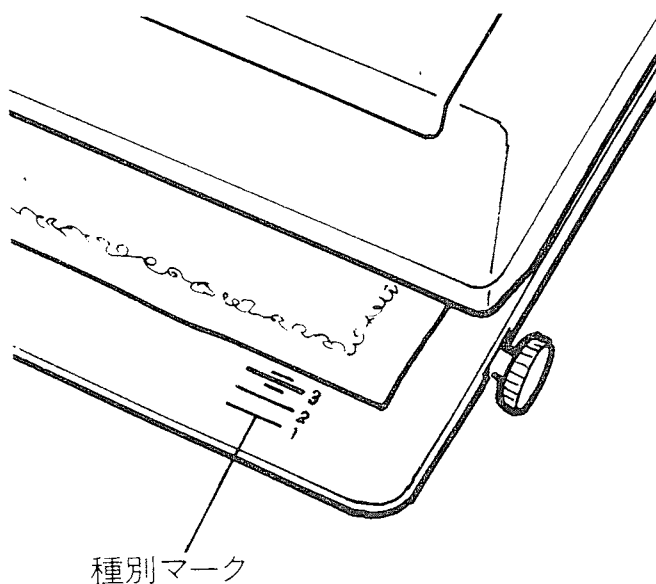
- ③そのまま奥へつきあたるところまで用紙を差込み「発行累計」あるいは「発行」キーを押します。



- ②次に金額マークを目安にして、左右印字位置を決めます。



- ④種別マークは、各用紙の奥行を覚えておくのにご利用ください。

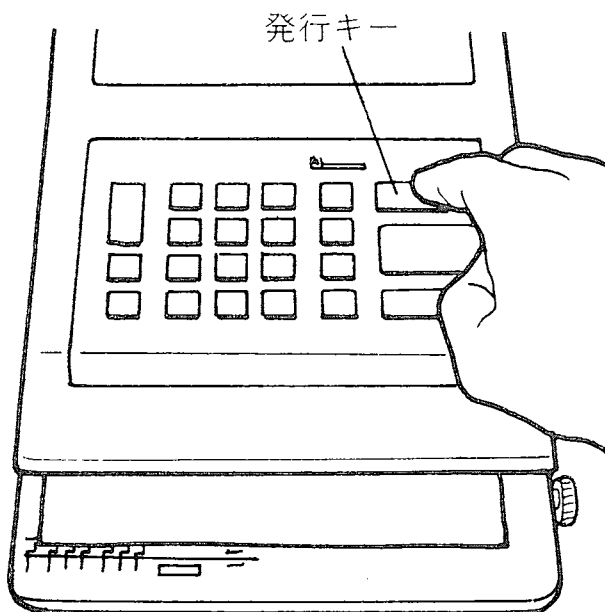


2 発行金額・枚数の累計のとり方

- ① 金額を印字させるのに、**発行累計** キーを使用すると、金額がメモリーに加算され、枚数をカウントします。



メモリーにはいる。



メモリーには入らない
(手形の控に印字させるときなどに使用)

- ② 累計結果を表示させるには、スライドスイッチを切り換えて、**発行累計** キーを呼び出しボタンとして用います。

(P5 スライドスイッチとキー操作の)
項参照。

お願い

メモリーがオーバーフローしたときは表示 (M点灯) されます。このとき、累計結果を呼び出しますと、11桁目が表示されませんが **▶** キーで11桁目のデータを出すことができます。

控をとり、メモリーをクリアして使用してください。

3 抹消印字とメモリーの訂正

スライドスイッチを「抹消」に持っていき **発行累計** あるいは **発行** を押すと、一度印字した金額をつぶすことができます。

¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥¥

その際、金額の表示と **発行累計** キーを用い、ことによって累計メモリーの訂正(減算)ができます。

(P5 スライドスイッチとキー操作の)
項参照。

4 電卓としての使用

① 通常計算

入力順に行います。

(例) $123 + 456 \times 789$
の場合

キー操作	表示
1 2 3	123.
+	123.
4 5 6	456.
×	579.
7 8 9	789.
=	456,831.

② 定数計算、及びリヒート計算は、
できません。

③ 特殊な使い方

● 同じ数を使う計算の場合は、キー入力を省略できます。

(例) $123 + 123$ の場合

☆ **+** キーを押した時に、123
が読み込まれ同時に123
が置数されます。

キー操作	表示
1 2 3	123.
+	123.
=	246.

● **▶** キーを使った計算

(例) $12,340$
 $+ 1,234$ の場合

キー操作	表示
1 2 3 4 0	<u>12,340.</u>
+	<u>12,340.</u>
▶	<u>1,234.</u>
=	13,574.

(例) $\frac{123,456}{+1,234,578}$
 の場合

キー操作	表示
1 2 3 4 5 6	123,456.
+	123,456.
▶	12,345.
7 8	1,234,578.
=	1,358,034.

④四則計算キーが続けて押された時は、最終四則キーが有効で次の様に計算されます。

(例) $5 \times + 3 = \dots 5 + 3$ を計算。

キー操作	表示
5	5.
×	5.
+	5.
3	3.
=	8.

⇒ \times が無効になります。

⑤ **CE** キーは、表示されている数字のみをクリアします。

(四則計算キーのクリアはできない)

(例) 50 **CE** 0
 50 × **CE** 50 (50 × が入力されている)

⑥ 計算結果がオーバーフローした時は、自動的に下桁をカットします(上位から10桁のみ表示)。そのときポイントの表示位置によってカットした桁数を示します。

(例) 12,345,600 × 10,000 = 123,456,000,000 (12桁)

キー操作	表示
12345600	12,345,600.
×	12,345,600.
10000	10,000.
=	1.2.34,560,000.

⇒ 下2桁がカットされている。

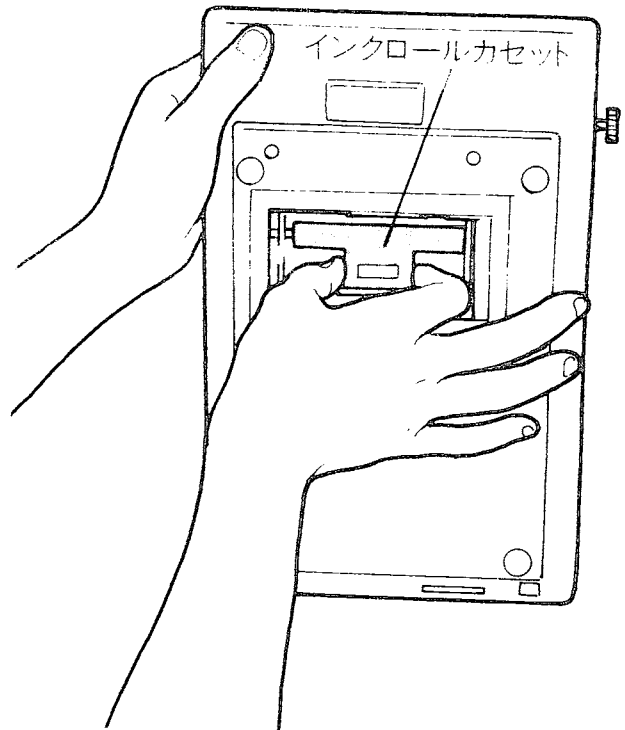
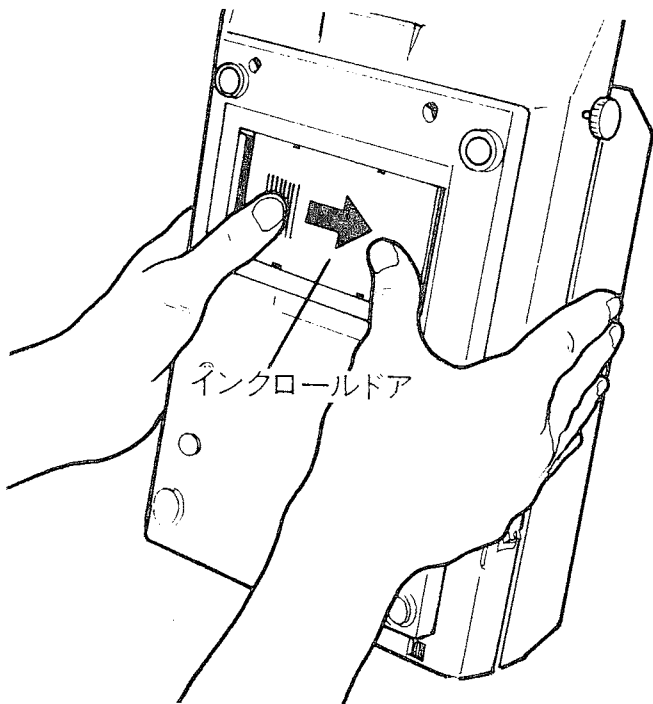
※ 計算結果が11桁以上でオーバーフロー表示している時は **C** キー以外は受け付けません。

⑦ 小数は、整数部と合わせ有効数字10桁まで表示します。

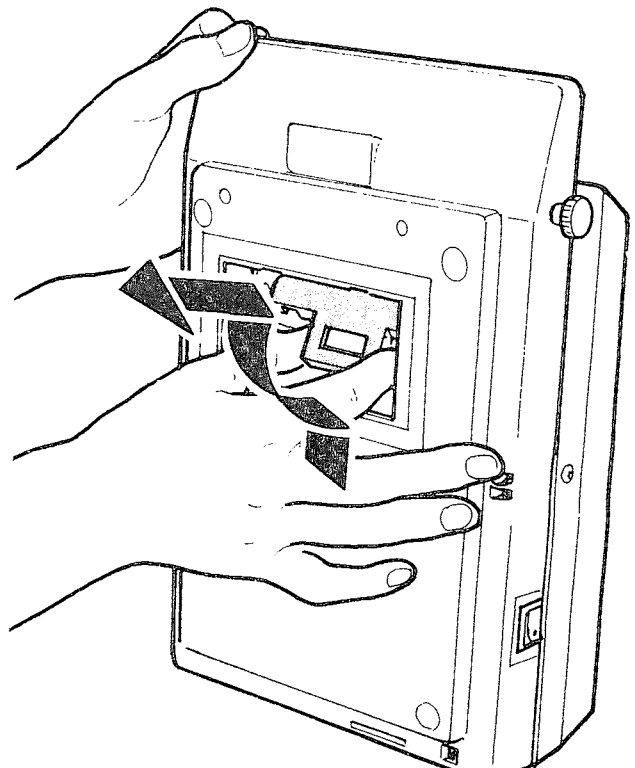
5 インクロールの交換方法 (インキローラーカセット)

本機使用中、印字がうすくなった場合には、下記の要領でインクロールの交換を行ってください。

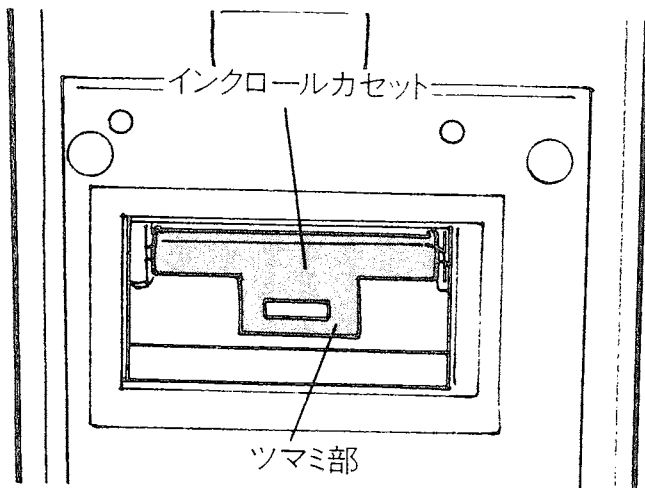
- ① 本機をたて、図のように、インクロールドアをはずします。



- ③ インクロールを上を持ち上げ手前に引くと取りはずせます。

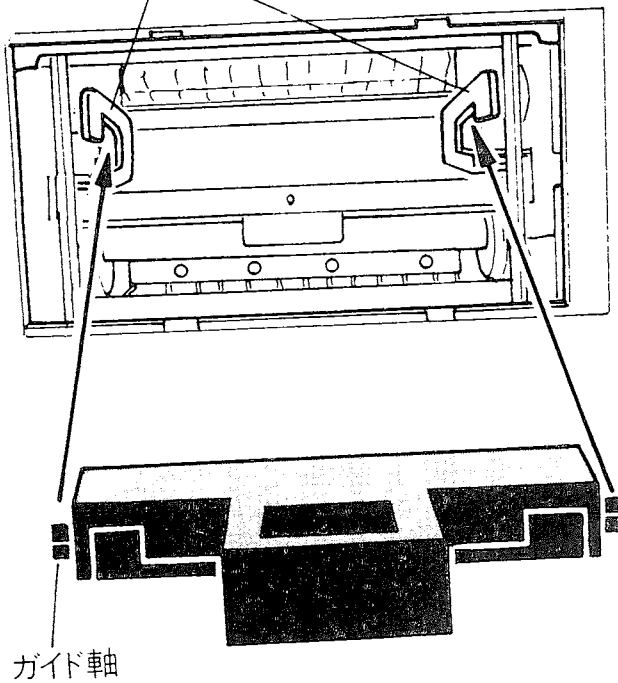


- ② インクロールカセットのつまみ部を持ち、手前へ引きます。

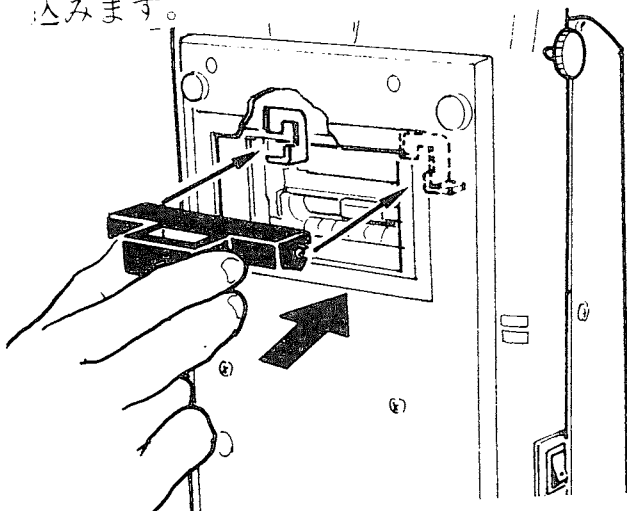


- ④新しいインクロール（インキローラーカセットEG-400）をフリスターバックより取り出し、インクロールホルダーガイドに差し込みます。

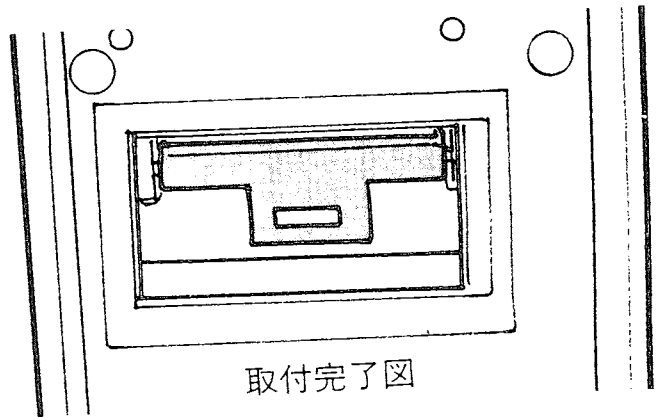
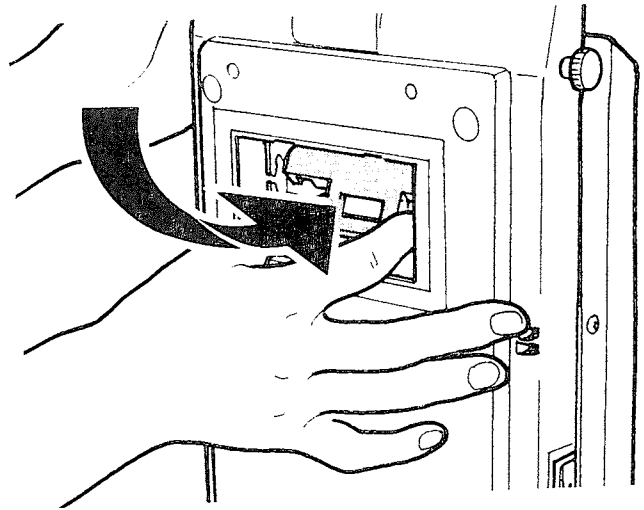
インクロールホルダーガイド



- ⑤図のように、インクロールの両端のガイド軸を本体ホルダーガイドに平行に差し込みます。



- ⑥インクロールが平行に止まったところでつまみを図のように押します。カチッと音がしてセット完了です。



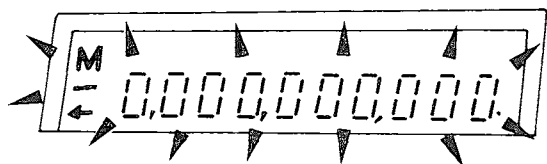
お願い

インクロールは別売になっておりますので、本機お買求めの販売店でウチダ電子チェツクライタEG-400型用「インキローラーカセット」とご指定の上、お買求めください。

6 本機のトラブルとその処置

印字中トラブルが発生した場合には、機械がロックされ動かなくなります。この場合、表示は10桁全部に“0”が表示され、“0”が点滅します。

その場合には、電源スイッチを“OFF”にして、再び“ON”にしてください。(軽度のトラブルの場合には、これでトラブルが直り、再びご使用になれます。)



お願い

スイッチを“ON”、“OFF”しても“0”が点滅する場合には、電源コードを抜き、最寄のウチダサービス・ステーションまでご連絡下さい。

7 仕様

名 称	ウチダ電子チェックライタ EG-400型
製品記号	EG-400型
入力桁数	最大10桁(蛍光表示管)
印字桁数	最大12桁(シンボル¥・※、金額10桁)
印字スピード	1.8秒
印字方式	刻み込み字輪
インキング	インクロール方式(カートリッジ交換)
印字奥行	最大80mm(用紙上端より文字中心まで)
補助機能	四則演算機能、発行金額・枚数の累計機能
外形寸法	(巾)213mm×(奥行)313mm×(高さ)126mm
重 量	4.6kg
消費電力	常時7W、印字時14W
電 源	AC100V、50/60Hz
使用温湿度	温度0°～40° C、湿度80%以内
付 属 品	ケースカバー、インクロール(本体セット済)